

## 意見・提案シート（平成29年3月11日開催分）

■ 公立保育園の運営方式見直しについて、民営化ありきで話が進んでいることに疑問を感じます。

ガイドラインについて、順守してくれる業者が出ない限り実施する事は控えて欲しい。

利用者を見殺しした形で進めないでいただきたいです。対話する機会を作っていただきたい。

■ 児童福祉審議会の時は、公立父母はいた！なぜ子ども子育て会議には入っていないのか。公立父母が1人もいない中で公立保育園の民間委託を決めるのはおかしい。

今はもう、いい委託などあり得ない。いいところはもう受け入れられないのが現状。企業立の保育園に委託するのですか。これでは子ども達があまりにかわいそう。

職員団体とさっさと合意(?)し、結果だけを運協に提案するのは納得できない！保育園は市民の財産でもある。市民が納得いく説明をすべきです。

■ 市として保育の課題の対応の優先順位を知りたい。

人が足りないけど「がんばっている」と言われていますが、そんなのは仕事なので当然のように思います。多分それは市としての優先順位が低いということなのだと思います。

市として民間への移譲で解決する課題なのかもわかりません。

■ 「子育て環境日本一」の小金井市だからこそ、絶対に公立の保育園を守って欲しい。保育はお金を払って受ける「サービス」でも、遊びの「子守りの数」でもないと思う。保護者と連携し一体となり、人間の基盤を作る大切な時期に、総合的に発達を促す指導力や積み重ねた経験や高い専門性が求められる職種だと思う。

保育の本質とは何か、今一度見直し検討して欲しい。

■ そもそも協議の結果、保護者の意見が取り入れられている実績があるのか？あるのであれば、その部分だけを抽出した資料を見てみたいと思います。

■ ・過去を御存知ないようですが、児童福祉審議会で保育について審議してい

た時代には、公募枠ではなく、「公立保育園父母会代表」という枠がきちんとありました。子育て会議になってこの枠がなくなってしまったこと自体、問題だと思っています。保育園のこと（仕組みも含めて）もよくわかっていないメンバーがほとんどの会議で、保育園のことを決めることがそもそもおかしいことです。

・職員団体と理事者との話し合いで労働条件のことを話し合っていくのは当然だと思いますが、市民の財産である市立保育園を事業者に売り渡すことを是とするのは、間違っていないでしょうか？少なくとも議会で進めていくべきことのはずです。

・保護者からの数々の意見は、現在の社会状況をきっちり見据えていると思います。市が作っている“あくまで職員削減、あくまで委託”というしぼりの中で曇った目で見ているものより、余程色々調べ、研究した中から発言されています。現時点で“良心的な優良社会福祉法人等”が手を挙げる力量は皆無と言って良いです。市内で色々な福祉施設を引き受けている社会福祉法人も、23区内で委託を途中で投げ出しています。良い保育は、一朝一夕でできるものではありません。今、質の良い保育を行っている施設であっても、その人員がそっくりそのまま委託園の保育を行えるものではありません。1/3～1/2 に薄まった保育になります。（この言い方がわからないなら、それは保育のそもそものがわかっていないということです。わかっていただけることを願います。）

・利用者アンケートの個別アンケートを毎年拝見していますが、保護者は良くわかっていると感心します。課長は要望の少なかったものだからと言ってないがしろにはしないと答えていましたが、これだけ沢山出されている「委託しないで」の声を、どう取り扱うつもりなのでしょうか。

・公立保育園利用者なので、これだけアンケートも毎年行われています。市の方針のように仮に公立が2園になってしまったら、利用者の声も、全利用者2000人以上のうち、たかだか200人程度、1割の利用者の保育ニーズしか捕らえられなくなります。公立保育園が市の保育のスタンダードを築いていくという中には、このようなニーズ把握→そこから保育施策の充実ということも含まれています。それができないとなると、市の保育レベル全体の低下にもつながります。

・資料158の「運営方式見直しによるサービス拡充の可能性」には、延長、休日等、民民になればできるような表になっていますが、3月議会一般質問で、前の部長は、「そのために予算をつけることは考えていない」と答弁しています。事業者は、予算の付かない事業は行いません。区部では、休日保育、年末保育等、委託させた事業者に行わせていますが、そのためにはきちんと予算を付けています。（例えば70人規模の保育園で、栄養士調理師合わせて5人など。）お

金の為の委託では、質ばかりでなく、名目的なサービスの拡充も不可能です。

■・子育て支援に関する財政難から、長年凍結されていた「利用料金」が突然引き上げられました。しかも3年で1.5倍というのは（いくら他の自治体よりこれまで低かったとはいえ）異常です。決定されてしまったから、そして、それでも利用せざるをえないから、甘んじて受け入れるしかありません。

本来であれば、この利用料引き上げで得られた資金で、何年か（何十年か）やってみて、それでも不足していれば、最終手段としての民営化を検討開始というのがすじではないでしょうか？アンケートを毎年とりながら、何ら対応してこなかったくせに、こうして集めた資金を何に使うのですか？

・市は多くの課題を抱えていますよね？てっとり早くお金を集められる手段として利用UPと民営化をしているとしか思えません。他にやるものがたくさんあるのではないのでしょうか？（ふるさと納税もありますよ？企業を誘致するとか）

・公立 V.S.民間で、子供1人当たりにかかる費用が、民間がこの3年で110万円→75万円に減っていることは異常とは思わないのですか？低コストな保育って何をしているか不安です。

・「ブラック保育園」のニュースは御存知ですか？

テレビ神奈川、産経新聞、週刊東洋経済（←2017/3/6）で取り上げられています。

小金井市にも参入し、2園目を開こうとしている、株式会社保育園です。

川崎の園ですが、職員数を多く報告して補助金を不正受給したあげく、職員不足を補おうとした園長がうつ病になって退職しています。そして訴訟になっています。

まず、こんな問題のある保育園の参入を認めている時点で小金井市のことが信用できなくなりました。

保育内容や経営、先生の質は、たった数回視察しただけでわかるものではありませんよ。監視の目を持たないまま、また、こういった参入基準策定や決定に保護者を入れないまま、運営も設置も民営化するというのは、市は「子供を守る義務を放棄」「業者は野放し」ということですか？

・職員不足を放置しつつ置いて、ただでさえ足りない正規職員が↑のように病気になったらどうするつもりですか？

・民営化後は、「業者は安定運営する」と思い込んでいるのには呆れました。実際、民営化した学童の撤退や変更がおきていますよね？小学生より、幼児、乳児の方が、先生がころころ変わることに敏感です。子供がメンタル病んだら責任取れるのですか？

・公立の保育士は、市の宝です。長年の経験、信頼、ノウハウ etc...を捨てて、

パッと出の業者に（しかも万年保育士を求人しているような）、これらが期待できるとは思えません。保育士に限っては、年功序列で結構です。長くいてもらい、若い保育士を育ててくれないと困ります。

・「子供子育て会議」には、保育園に通わせている親は1人しかいないそうですね。そんな会議で決めたことを基に「基本方針」を作る意味がない。保護者と話し合っただけで決めたことにはなりません。保護者は皆、怒っていますよ。少なくとも納得はしていません。

・「子供子育て会議」にしか決定権がないなら（運協は諮問できない）、メンバーを変更すべき。保育園の親、これから保育園に入る親がメンバーにいないのは異常。

■・子育て環境日本一をかかげた市長と運協メンバーの対話開催を提案します。  
・保育の質、民営化について、これだけ熱のこもった議論がされている本会を、「諮問答申にできない」という理由だけで検討主体にしないのは本末転倒。市として、議会に条例化を働きかけるべきである。

■正規職員・任期付職員は、これから先採用するつもりが市にないことが明らかになり、来年度以降さらに、保育士の欠員をふくめた体制の問題、民間等への委託問題のきちんとした保護者への説明の場などを設けるべき。

■東海林委員長が、資料 157 の話の最後でまとめて下さった保護者委員 10 名の総意の、以下 2 点の意見については取り入れていただきたいです。（公立園の保護者です。）

1. この計画の進行自体を見直す事も含めて盛り込んで欲しい。
2. 運営方式の見直しをやめることを含めて条項に書いて欲しい。